

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人谷川学園 こみね幼稚園

1. 本園の教育目標

つよいからだ
やさしい心
豊かな感性

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

幼児たちが今、興味を持っていることなどを知り、子どもに寄り添うことのできる保育を行う。
幼児のことについて、保育者同士で共通理解をし、細かい配慮ができるようにする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
幼児理解	B	子どもの特性や性格を把握し、それぞれに応じた声掛けや対応を心掛けたが、支援が必要な子が多く、十分な関りができていないこともあった
保育者同士の連携	A	学年ごとに時間を取り、コミュニケーションを大切にし、情報交換をしやすくすることができた
保護者への対応	A	保育管理アプリをうまく使うことで、必要事項を一斉に伝えることができるようになり、連絡漏れが減少した

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
A	子どもの興味関心に目を向けて、観察し情報を共有することで一人ひとりに寄り添う保育ができた。教師同士のコミュニケーションを取る時間を作ることで、情報交換がスムーズにできるようになったことから、次年度も続けていきたい。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
幼児理解	幼児の話しをよく聞き、幼児の思いを受け止め子ども主体を心掛ける
保育者同士の連携	子どものこと、クラスの出来事など保育者同士、報告、連絡、相談を丁寧に行う
保育者としての専門性に関する研究	来年度の研究発表園として、子どもの主体性を研究するので、園全体で研究に取り組み、実践していく

6. 学校関係者評価委員会の評価

教職員が子ども一人ひとりの育ちや、個性を受け止め個々に対する配慮がなされていると感じました。沢山いる子どもの名前をほとんど覚えてくれているので、安心して預けることができます。これからも、個性、自主性を大切にして子どもの成長を見守って欲しいです。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日

令和 7 年 3 月 24 日